

娘は母親の短所を見習う？反面教師とする？ －母娘間における仮想的有能感の類似性に関する検討－

伊藤菜緒・遠藤萌・川崎彩香



着想の経緯



母と娘で良くないところは似るのか？
似る人と、似ない人との違いは？



目的

- ①仮想的有能感は母娘で類似するのを検討【研究1】
- ②精神的自立が出来ているかどうかで、①の類似は変わるのかを検討【研究2】

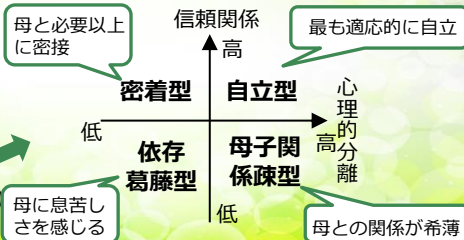
用語説明

★仮想的有能感とは？

自分の成功経験がないのにも関わらず、他者を見下すことで、相対的に有能感を得る感覚。

★精神的自立とは？

親との信頼関係を基盤として、親から心理的に分離することで、親とは異なる自己を築くこと。



自立4類型
(水本・山根, 2010)

研究1

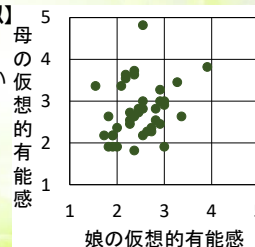
調査対象者 女子大学生とその母親39組

質問紙 仮想的有能感をはかる尺度 (Hayamizu, et al., 2004)
母親と娘に同じ質問に答えてもらった。

結果 【母親の得点と娘の得点の類似】

有意な相関は見られなかった($r=.26$)
⇒娘と母親の仮想的有能感が似ているとはいえない結果。

ただし、散布図にすると・・・
仮想的有能感、母と娘に関連がありそう。
⇒ 似ている人がいる一方で、似ていない人も多くいた可能性



精神的自立が出来ている人は親を客観視出来ているため、
良くない面は反面教師として母に似ないのでは？(研究2へ)

類似するかどうかに影響する要因があるのでは？

研究2

調査対象者 女子大学生174名
(研究2では、娘が母親をどう捉えているかに着目することとした。⇒娘のみに調査を実施)

質問紙 ①娘自身の仮想的有能感をはかる尺度 (Hayamizu, et al., 2004)、
②精神的自立をはかる尺度 (水本・山根, 2011)
③母親の仮想的有能感についての質問 (①と同じ項目で、娘が母親をどう捉えているかをたずねた)

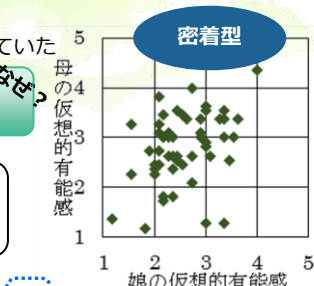
結果 【娘がとらえた母親像と自分像との類似】

●有意な正の相関

⇒娘と母親の仮想的有能感は似ていた

母親の態度を、自然に取り入れるため、似たのでは？

(母娘相関: $r=.36, p<.01$)
娘平均: $M=2.56$
母平均: $M=2.80$



信頼関係

高

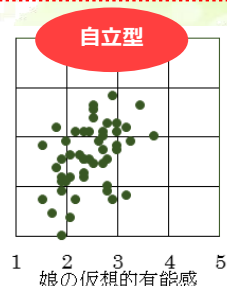
●有意な正の相関

⇒娘と母親の仮想的有能感は似ていた

母親の仮想的有能感が低いことに、なぜ？
娘も似たのでは？

平均値を見ると、自立型の娘は母親の仮想的有能感を低く見ている可能性。

(母娘相関: $r=.43, p<.01$)
娘平均: $M=2.48$
母平均: $M=2.59$



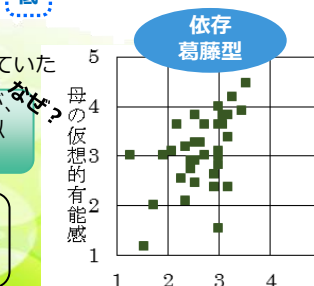
低

●有意な正の相関

⇒娘と母親の仮想的有能感は似ていた

母親と似ることに抵抗はあるが、分離できていないため自然と似てくるのでは？

(母娘相関: $r=.49, p<.01$)
娘平均: $M=2.66$
母平均: $M=3.07$



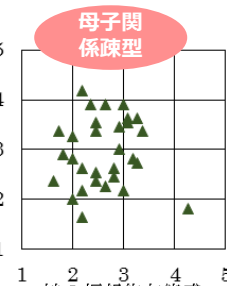
低

●相関なし

⇒娘と母親の仮想的有能感と似ているわけでも、似ていないわけでもなかった。

母との関係が希薄で、母親からの影響が弱いためでは？

(母娘相関: $r=.03, n.s.$)
娘平均: $M=2.61$
母平均: $M=2.95$



まとめ

- ★心理的分離が低い(密着型、依存葛藤型)の娘は、母親の仮想的有能感に似る
- ★自立型の娘は、母親の仮想的有能感の低さを見習う可能性
- ★母子関係疎離型の娘は、母親の仮想的有能感に影響されない

⇒心理的分離の程度が、母娘で仮想的有能感が似るかどうかにかかわる

母親から心理的分離をすることは、
母親からのネガティブな仮想的有能感の影響を受けづらくすることに有効では!?